

令和3年度
事業計画

公益社団法人 伊勢市観光協会

公益社団法人伊勢市観光協会
令和3年度 事業計画

最初に今般の新型コロナウイルス流行を受けて、感染予防対策のため各々の立場で力を尽くされている全ての方々にこころより厚く感謝申し上げます。

そして当会会員の皆さんおかれましては公益社団法人伊勢市観光協会の諸事業に対し変わらぬ深いご理解とご協力を賜っております事、合わせて御礼を申し上げます。

昨年から猛威を振るっている新型コロナウイルスの世界的流行は未だに衰えを見せていません。数次にわたる流行の波は人々の消費意欲を著しく衰えさせ、国民生活や経済活動に暗い陰を落していますが、取り分けわれわれ観光業や飲食業は深刻な打撃を受けています。ワクチン投与も始まり徐々に秩序は回復されて行くものと思われませんが、感染対策は決して怠る事なく、安心してお客様が伊勢志摩に戻って来られる様努めて行かなければならないと考えています。お客様へのおもてなしの第一線に立つわれわれは、新型コロナを一方的に恐れるのではなく、正しい知見と経験に基づいてこれに立ち向かって行かなければなりません。予防対策を十分に施した上で、昨年来中止や延期をされて来た諸行事の再開を図りましょう。46年ぶりとなる三重国体も県民一丸となって成功させればなりません。イベントを安心安全に、そして確実に回して行く事で人々の往来回復の日も早まって行くものと期待します。

おもてなし行事部会、青年部、観光祈願祭実行委員会は行政や関係団体ともよく連携を計り、コロナ時代に沿った事業を考えて行っていただきたい。また近い将来国内のコロナ流行が一応の収まりを迎えた段階では、まず国内の観光が活況迎えると予想されるので、それを見据えた発信のあり方を情報発信部会には考えて行って貰いたい。そして中期政策検討部会には引き続き当会の財政基盤の強化や収益事業の活性を検討して行って頂きたいと考えています。

この厳しい時期にあっても当会の期初会員数は420会員を数えています。この事は取りも直さず、この地域で観光に携わる事業者の皆さんからの伊勢市観光協会への期待の大きさの表れ、と感じずにはられません。是非一丸となって一緒にこの難局を乗り越えて行きましょう。

本年度も会員各位のより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

公益社団法人伊勢市観光協会
会長 濱田 典保

<公益目的事業－旅客誘致事業>

1 広報宣伝事業（情報発信部会）※括弧内は、事業を中心的に推進していく部署です

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、実際の旅行が難しくなっている現在、インターネットを介した情報発信の需要が高くなっております。当会としましても、伊勢の知名度をさらに高め、多様化している国内外観光客のニーズに対応でき、オンタイムの観光情報を提供できるホームページを目指します。また、SNS（Social Networking Service、コミュニティ型の会員制のサービス）を活かしたリアルタイム情報の提供を行います。外国語ホームページに関しては多言語翻訳機能を導入し、日本語ホームページと同内容で各言語の方に情報提供できるようにしていきます。

日本観光祈願祭及び観光交流伊勢会議については、コロナ渦における開催について実行委員会内で協議し、より良い事業を目指します。

観光御師及び観光大使事業においても、参加者の安全を確保しながらの開催を模索していきます。コロナ渦の影響で延期となっている全国規模の新たなネットワーク組織の立ち上げに関しても、新型コロナウイルスの動向を伺いながら札幌市における組織の立ち上げを進めていきます。

青年部の観光PR事業においては、現地PRの可能性も残しつつ新しい情報発信の形態も模索していきます。マスコットキャラクター事業においてはキャラクターを使用した効果的な情報発信に繋げていきます。

外国人観光客誘客事業に関しましては、現在の状況を考慮し、現地での誘客PRに関しては見送ることとし、インターネット等を介したPRや情報発信をしていきます。

広報宣伝事業におきましては次の事業を行います。

1. ホームページ等、インターネットを利用した観光情報提供
(情報発信部会・青年部)
2. SNS等を活用した観光情報提供（情報発信部会・青年部）
3. 観光案内所における観光情報の提供（案内所）
4. 「お伊勢さん観光ガイドの会」によるメディア等取材協力（おもてなし行事部）
5. 行政との観光パンフレットの共同作成及び配布事業（情報発信部会）
6. 観光物産展等の物品販売事業と連動したPR誘客活動（青年部）
7. マスメディアへの資料提供、取材協力、並びに宣伝活動（事務局）
8. 観光大使及び御師と連携し、口コミ等による全国発信の強化（情報発信部会）
9. ナイトタイムエコノミー推進事業（青年部）
10. 第54回日本観光祈願祭の開催（観光交流伊勢会議実行委員会）
11. 第16回観光交流伊勢会議の開催（観光交流伊勢会議実行委員会）
12. マスコットキャラクター事業（青年部）
13. 外国人観光客へのPR事業（情報発信部会）
14. オンラインツアーや講座等を利用した情報発信（情報発信部会）
15. その他広報宣伝事業

2 観光客の誘致接遇事業（情報発信部会、おもてなし行事部、青年部）

伊勢市、伊勢商工会議所、伊勢まちづくり会社など各関係団体と協働体制をとり、旅客誘致やおもてなし事業を企画推進していきます。

観光案内所の運営については引き続き「ウィズコロナ」体制をとり、安心安全を第一に来訪者のニーズに細やかに対応できる案内所を目指し、更なる改善をしていきます。レンタサイクル事業に関しては、シティサイクル、電動アシスト自転車及びE-バイクの運用を行い、更なる利用促進を図ります。ボランティアガイド事業に関しては、ガイドの会との協議を進めガイド活動の円滑化を目指します。

外国人誘客（インバウンド）事業では、インバウンド委員会を中心に海外からの誘客を考えていきます。

手荷物事業では、全体的な利用促進を図ると共に事業の検証と改善を行います。

観光客の誘致接遇事業におきましては次の事業を行います。

1. レンタサイクル事業（青年部）
2. 観光案内所の運営（案内所）
3. 「お伊勢さん観光ガイドの会」事業（ガイドの会、おもてなし行事部）
4. 各種大会等の誘致接遇（おもてなし行事部）
5. 歓迎塔、歓迎看板等の設置（事務局）
6. 伝統芸能振興協力（事務局）
7. 外国人観光客誘致事業（情報発信部会、インバウンド委員会）
8. 行政並び関係機関との次期御遷宮へ向けた協働事業（全体事業）
9. 伊勢市駅、宇治山田駅、外宮前観光案内所における手荷物事業（中期政策検討部会）
10. 新型コロナウイルスの対策事業
11. その他誘致接遇事業

3 企画調査と組織事業（情報発信部会、おもてなし行事部、青年部、中期政策検討部会）

国・県・市の各関係機関から観光情報を取り入れ、観光に関する動向の調査・研究を行い、地域における観光誘致事業のあり方を考察し、特色ある観光地づくりの研究と様々な実験事業の試行、協力を行います。青年部のナイトタイムエコノミー推進事業においては、観光客の夜間消費を喚起する情報ページなどの作成を視野に入れながら調査と企画を進めます。

以上の目的を達成するために次の事業を行います。

1. 新しい観光地づくりの調査・研究（青年部、情報発信部会、中期政策検討部会）
2. 観光大使及び観光御師制度の充実の為の企画調査（情報発信部会）
3. 先進観光地の研究、視察（青年部、おもてなし行事部、情報発信部会、中期政策検討部会）
4. 外宮周辺の活性化対策への協力（青年部、おもてなし行事部）

5. ナイトタイムエコノミー推進事業（青年部）
6. 青年部活動と協働（青年部、親会）
7. 観光振興研修事業（おもてなし行事部）
8. その他

4 観光施策及び共催事業（おもてなし行事部、青年部）

伊勢市の伝統、文化を守り継承していく行事を支援し、伊勢を訪れる観光客に伊勢の魅力を伝え、再来訪や情報発信に繋がります。併せて観光事業を通じて関係各団体と連携を図り観光振興、発展に努めます。

以上の目的を達成するために次の事業を行います。

1. 伊勢神宮奉納全国花火大会（おもてなし行事部）
2. 二見浦海水浴場浜開き式（おもてなし行事部）
3. 神宮観月会に併せた観月茶会の開催（おもてなし行事部）
4. 初穂曳への協力（おもてなし行事部）
5. 冬至の奉納（おもてなし行事部）
6. 越年行事 伊勢神宮奉納餅つきと年越餅の贈呈（おもてなし行事部）
7. 伊勢楽市（春・秋）開催協力（青年部）
8. 御幣鯛奉祝事業（おもてなし行事部）
9. 行政との観光PR企画事業（情報発信部会、青年部）
10. 伊勢まつりへの協力（おもてなし行事部）
11. その他各種団体行事への協力（おもてなし行事部）

5 関連団体への協力及び事業の推進

関連団体の中枢会員として、観光振興に関わる事業への協力並びに諸施策の推進を図ります。引き続き、伊勢志摩地域の関係団体等との連携を図り、広域的な観光を目指す方向で検討していきます。本年度は、初穂引きが第50回目の節目に当たり記念事業を予定しており、これに参画と協力をしていきます。

以下の事業団体へ協力及び事業推進を図ります。

1. 伊勢商工会議所
 - ・ 中心市街地活性化協議会
 - ・ 伊勢音頭発展会
 - ・ 伊勢うどん協議会
 - ・ 夜の賑わい創出実行委員会
2. (公社) 伊勢志摩観光コンベンション機構
 - ・ 伊勢志摩学生団体誘致委員会
 - ・ 伊勢志摩観光企画委員会
 - ・ 伊勢志摩フィルムコミッション
 - ・ 伊勢志摩インバウンド担当者会議

3. (一財) 伊勢志摩国立公園協会
4. (公社) 三重県観光連盟
5. 伊勢市国際交流協会
6. (公社) 日本観光振興協会
7. 第50回初穂曳記念事業委員会、実行委員会 (仮)
8. 伊勢まちづくり株式会社
9. 伊勢青年団体連絡協議会
10. おもてなしヘルパー推進会議
11. 伊勢地域観光交通対策協議会
12. いせでわDMO (山形県主導事業)
13. 三重県観光・地域活性化協議会 (REVIC)
14. その他団体との協力、連携

6 協賛または後援行事

伊勢市内で開催される各種行事の観光誘致事業については賛同し、協賛及び後援をしていきます。

次の各種行事に協賛または後援をしていきます。

1. 猿田彦神社御田祭及び七五三祭
2. 倭姫宮例大祭(春・秋)
3. 伊勢高柳の夜店
4. 二見大祭しめなわ曳
5. 外宮奉納市
6. 外宮さんゆかたで千人お参り
7. 伊勢神宮奉納選抜社会人野球伊勢大会
8. 都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会
9. 伊勢まつり
10. おひなさまめぐり in 二見
11. 全日本大学駅伝対校選手権大会
12. 伊勢神宮奉納全日本学生弓道王座決定戦
13. 伊勢神宮奉納書道展
14. お伊勢さんマラソン大会
15. 松尾観音寺初午大祭
16. 神宮奉納大相撲
17. 金剛證寺開山忌
18. その他 協会が認める観光事業

7 市受託(入札)事業(おもてなし行事部、中期政策検討部会)

伊勢市から下記3事業を受託し事業を行う予定です。

1. 観光案内所

伊勢市駅構内・宇治山田駅構内・外宮前・二見浦・宇治浦田の運営を通し国内外から訪れ観光客に必要な情報提供や、おもてなしを行います。各種誘客キャンペーン事業にも協力を行い伊勢志摩全体への周遊拠点の役割担います。

2. 二見浦海水浴場の運営（おもてなし行事部）

日本初の公認海水浴場の管理運営を行います。イベント等の開催も企画を検討し、年間を通した二見浦海水浴場の利活用を進めます。

3. 伊勢市ふるさと応援寄附金 PR および発送業務（中期政策検討部会）

伊勢市ふるさと応援寄附金寄附者への返礼品発送業務等の受託を目指します。また、返礼品の充実や PR 業務も行います。

<収益事業>（中期政策検討部会、青年部）

公益目的事業遂行の為の資金調達及び誘客の為の情報発信を目的として下記の事業を行います

1 賃貸事業

伊勢市駅前ビルの賃貸事業に加え、風餐亭 1 F 研修室を使った賃貸事業を推進します。

2 物品販売事業（青年部、中期政策検討部会）

EC サイトを使った情報発信と収益事業。インターネット通販（EC サイト）の拡充と各地イベントなどへの出店をしていきます。伊勢市ふるさと応援寄附金については、行政と協働し情報発信や広報の充実や返礼品の商品開拓を図ります。

3 会員互助事業（情報発信部会、中期政策検討部会、青年部）

会報誌「ええじゃないか伊勢」の発行、青年部ホームページだけでなく会員向け情報をホームページから取得できるようにしていきます。それと同時に会員互助事業についても事業企画等を行っていきます。

<本部事業>

1 中期政策検討部会

協会の運営や事業、その方向性などについて検討し、理事会へ提言していきます。本年度は事業等の統廃合などの見直しを進め、コスト削減や運営の効率化を図ります。さらに先進地への研修なども視野にいれ健全な協会運営に役立てます。

2 その他

今年度は、特例措置として会費の減額を行い新型コロナウイルスにより疲弊してきている会員の負担を軽減します。

外宮前案内所建屋に関しては、経年劣化による漏水対策の修繕を行います。

収支予算書(正味財産増減予算書)

2021年4月1日から2022年3月31日

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
正会員受取会費	5,580,000	11,160,000	△ 5,580,000
②事業収益			
貸貸収入	6,600,000	8,284,000	△ 1,684,000
物品販売収入	80,000,000	30,800,000	49,200,000
受託事業収入	47,153,000	46,973,559	179,441
手荷物預り事業収入	2,200,000	5,900,000	△ 3,700,000
バナー広告収入	900,000	1,700,000	△ 800,000
事業収益計	136,853,000	93,657,559	43,195,441
③受取負担金			
受取負担金	19,154,950	23,698,916	△ 4,543,966
④受取寄付金			
受取寄付金	1,945,020	100,000	1,845,020
受取寄付金振替額	486,255	2,431,275	△ 1,945,020
⑤雑収益	620,000	1,612,000	△ 992,000
経常収益計	164,639,225	132,659,750	31,979,476
(2) 経常費用			
①事業費			
役員報酬	2,400,000	2,400,000	0
給料手当	31,195,120	31,143,040	52,080
臨時雇賃金	3,680,000	3,700,000	△ 20,000
退職給付費用	0	0	0
福利厚生費	7,541,447	7,316,469	224,979
旅費交通費	2,598,240	4,039,670	△ 1,441,430
通信運搬費	4,659,665	2,933,745	1,725,920
建物減価償却費	1,480,495	1,480,495	0
建物附属設備減価償却費	59,351	59,351	0
構築物減価償却費	33,667	33,667	0
消耗品費	2,821,000	3,411,000	△ 590,000
修繕費	3,307,000	1,052,000	2,255,000
印刷製本費	6,442,100	8,552,500	△ 2,110,400
燃料費	45,600	45,600	0
光熱水料費	663,800	601,800	62,000
賃借料	2,174,920	2,111,920	63,000
保険料	292,620	313,920	△ 21,300
諸謝金	200,000	625,000	△ 425,000
租税公課	4,181,500	4,083,300	98,200
支払負担金	1,973,160	1,973,160	0
委託費	15,250,668	17,625,336	△ 2,374,668
会議費	762,500	857,500	△ 95,000
渉外費	193,500	487,000	△ 293,500
物品仕入高	74,000,000	25,300,000	48,700,000
雑費	1,399,500	1,691,500	△ 292,000
事業費計	167,355,853	121,837,973	45,517,881

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
②管理費			
役員報酬	1,600,000	1,600,000	0
給料手当	2,742,880	2,731,760	11,120
退職給付費用	0	0	0
福利厚生費	928,853	829,632	99,222
会議費	107,500	107,500	0
旅費交通費	64,500	64,500	0
通信運搬費	511,915	511,915	0
建物減価償却費	1,465,235	1,465,235	0
建物附属設備減価償却費	72,542	72,542	0
構築物減価償却費	41,153	41,153	0
消耗品費	129,000	172,000	△ 43,000
修繕費	43,000	258,000	△ 215,000
印刷製本費	34,400	64,500	△ 30,100
燃料費	34,400	34,400	0
光熱水料費	103,200	103,200	0
賃借料	419,680	419,680	0
保険料	110,080	110,080	0
租税公課	322,500	322,500	0
支払負担金	80,840	80,840	0
委託費	521,332	521,332	0
渉外費	64,500	86,000	△ 21,500
雑費	129,000	150,500	△ 21,500
管理費計	9,526,510	9,747,269	△ 220,759
経常費用計	176,882,363	131,585,241	45,297,122
評価損益等調整前当期経常	△ 12,243,138	1,074,509	△ 13,317,647
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 12,243,138	1,074,509	△ 13,317,647
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増	△ 12,243,138	1,074,509	△ 13,317,647
法人税、住民税及び事業税	72,000	72,000	0
当期一般正味財産増減額	△ 12,315,138	1,002,509	△ 13,317,647
一般正味財産期首残高	54,694,196	53,691,687	1,002,509
一般正味財産期末残高	42,379,058	54,694,196	△ 12,315,138
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	486,255	2,431,275	△ 1,945,020
寄付金振替額(指)	486,255	2,431,275	△ 1,945,020
当期指定正味財産増減額	△ 486,255	△ 2,431,275	1,945,020
指定正味財産期首残高	81,247,726	83,679,001	
指定正味財産期末残高	80,761,471	81,247,726	
III 正味財産期末残高	123,140,529	135,941,922	△ 12,801,393

収支予算書内訳表(正味財産増減予算書内訳表)

2021年4月1日から2022年3月31日

単位(円)

科目	公益目的 事業会計	収益事業等 会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
①受取会費				
正会員受取会費	2,790,000	250,000	2,540,000	5,580,000
②事業収益				
賃貸収入	3,000,000	3,600,000	0	6,600,000
物品販売収入	0	80,000,000	0	80,000,000
受託事業収入	46,503,000	650,000	0	47,153,000
手荷物預り事業収入	2,200,000	0	0	2,200,000
パナー広告収入	900,000	0	0	900,000
事業収益計	52,603,000	84,250,000	0	136,853,000
③受取負担金				
受取負担金	12,632,450	0	6,522,500	19,154,950
④受取寄付金				
受取寄付金	0	607,819	1,337,201	1,945,020
受取寄付金振替額	486,255	0	0	486,255
⑤雑収益	520,000	100,000	0	620,000
経常収益計	69,031,705	85,207,819	10,399,701	164,639,225
(2) 経常費用				
①事業費				
役員報酬	2,240,000	160,000		2,400,000
給料手当	30,588,200	606,920		31,195,120
臨時雇賃金	3,680,000	0		3,680,000
福利厚生費	7,379,596	161,851		7,541,447
旅費交通費	2,589,240	9,000		2,598,240
通信運搬費	1,188,235	3,471,430		4,659,665
建物減価償却費	587,890	892,605		1,480,495
建物附属設備減価償却費	26,378	32,973		59,351
構築物減価償却費	14,963	18,704		33,667
消耗品費	2,383,000	438,000		2,821,000
修繕費	3,201,000	106,000		3,307,000
印刷製本費	6,041,300	400,800		6,442,100
燃料費	40,800	4,800		45,600
光熱水料費	619,400	44,400		663,800
賃借料	1,963,360	211,560		2,174,920
保険料	265,560	27,060		292,620
諸謝金	200,000	0		200,000
租税公課	1,681,500	2,500,000		4,181,500
支払負担金	1,961,880	11,280		1,973,160
委託費	15,127,924	122,744		15,250,668
会議費	747,500	15,000		762,500
渉外費	184,500	9,000		193,500
物品仕入高	0	74,000,000		74,000,000
雑費	1,121,500	278,000		1,399,500
事業費計	83,833,726	83,522,127		167,355,853

科 目	公益目的 事業会計	収益事業等 会計	法人会計	合計
②管理費				
役員報酬			1,600,000	1,600,000
給料手当			2,742,880	2,742,880
福利厚生費			928,853	928,853
会議費			107,500	107,500
旅費交通費			64,500	64,500
通信運搬費			511,915	511,915
建物減価償却費			1,465,235	1,465,235
建物附属設備減価償却費			72,542	72,542
構築物減価償却費			41,153	41,153
消耗品費			129,000	129,000
修繕費			43,000	43,000
印刷製本費			34,400	34,400
燃料費			34,400	34,400
光熱水料費			103,200	103,200
賃借料			419,680	419,680
保険料			110,080	110,080
租税公課			322,500	322,500
支払負担金			80,840	80,840
委託費			521,332	521,332
渉外費			64,500	64,500
雑費			129,000	129,000
管理費計	0	0	9,526,510	9,526,510
経常費用計	83,833,726	83,522,127	9,526,510	176,882,363
評価損益等調整前当期経常	△ 14,802,021	1,685,692	873,191	△ 12,243,138
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 14,802,021	1,685,692	873,191	△ 12,243,138
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0
税引前当期一般正味財産増	△ 14,802,021	1,685,692	873,191	△ 12,243,138
法人税、住民税及び事業税	0	72,000	0	72,000
当期一般正味財産増減額	△ 14,802,021	1,613,692	873,191	△ 12,315,138
一般正味財産期首残高				54,694,196
一般正味財産期末残高				42,379,058
II 指定正味財産増減の部				
一般正味財産への振替額	486,255	0	0	486,255
寄付金振替額(指)	486,255	0	0	486,255
当期指定正味財産増減額	△ 486,255	0	0	△ 486,255
指定正味財産期首残高				81,247,726
寄付金				83,679,001
指定正味財産期末残高				80,761,471
寄付金				80,761,471
III 正味財産期末残高				123,140,529

(注) 貸借対照表内訳表を作成していないため、一般正味財産期首残高、一般正味財産期末残高、指定正味財産期首残高、指定正味財産期末残高及び正味財産期末残高は合計欄のみを記載している。

資金調達及び設備投資の見込みについて

【令和3年度(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)】

(1) 資金調達の見込みについて

借入れの予定		<input type="checkbox"/>	あり	<input checked="" type="checkbox"/>	なし
事業区分	借入先	金額		用途	

(2) 設備投資の見込みについて

設備投資の予定		<input type="checkbox"/>	あり	<input checked="" type="checkbox"/>	なし
事業区分	設備投資の内容	支出又は収入の予定額		資金調達の方法	